

◆基本設計の検討状況について

東部方面斎場（仮称）の建築設計を行う事業者を令和2年8月に公募型簡易プロポーザル方式で決定しました。

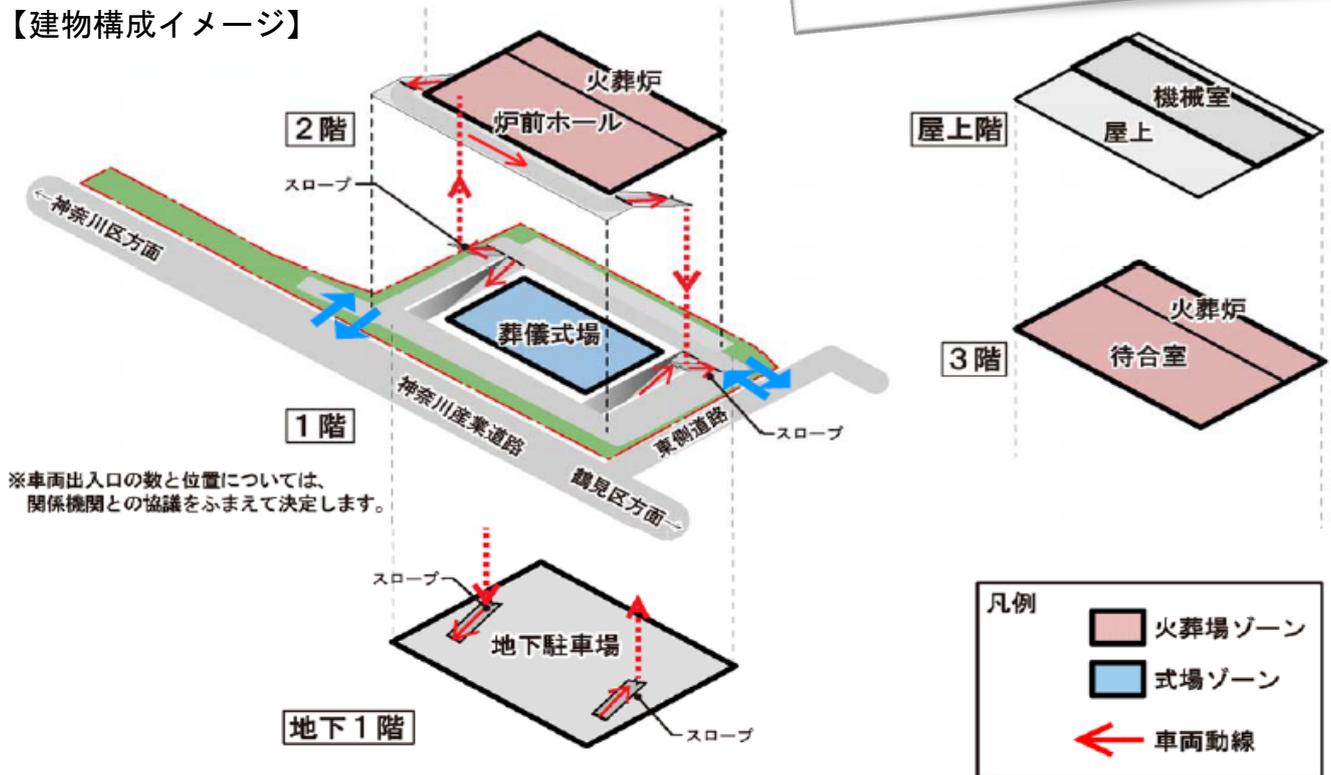
現在は、①計画地に斎場を建てるための条件整理、②必要な機能を整備するための調査、③基本となる図面の作成等の検討を行っています。

下図は、斎場の建物構成イメージです。



計画地の航空写真

【建物構成イメージ】



- 1階には、通夜・告別等を行う葬儀式場（約50席）を2～3室配置します。
- 2階には、斎場の主たる設備である火葬炉（16炉）と告別・収骨を行う炉前ホールを配置します。

（計画地は、横浜市地震被害想定調査による津波浸水想定において、1.0m以上2.0m未満の浸水が想定されており、災害時も火葬機能を維持できるようにします。）

- 3階には、火葬の間、お待ちいただく待合室（16室）や売店・喫茶等を配置します。
- 地下1階には、駐車場を配置し、計画地内に150台以上の駐車スペースを確保します。
- 神奈川産業道路や東側道路に設ける車両出入口の位置等は、関係機関との協議をふまえて決定します。

（斎場へ来場する際の通行ルートについては、周辺の交通に与える影響を考慮し、斎場の利用者が安全に来場いただくことができるルートの検討を行っています。）

<裏面につづきます>

◆環境影響評価（自主）結果について

【環境影響評価（自主）】

当事業が環境へ与える影響を調査することは重要なことと考え、右の評価項目について、令和元年度及び2年度に自主的に環境影響評価を実施しました。

その結果、環境の保全のための措置に取り組むことで、環境保全目標は達成されると評価されました。



写真：事業区域及びその周辺で確認された動植物例
（左）カワラヒワ （右）タンキリマメ

表 環境影響評価項目一覧

工事中	供用後
① 温室効果ガス	① 温室効果ガス
② 生物多様性	② 生物多様性
③ 廃棄物・建設発生土	③ 廃棄物・建設発生土
④ 大気質	④ 大気質
⑤ 騒音	⑤ 騒音
⑥ 振動	⑥ 振動
	⑦ 悪臭
	⑧ 浸水
⑨ 交通混雑・歩行者の安全	⑨ 交通混雑・歩行者の安全
	⑩ 景観
⑪ ふれあい活動の場	⑪ ふれあい活動の場

◆説明会のご報告

これまでの説明会は、生麦地区センターで開催していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年度は動画配信形式で開催しました。

＜配信期間＞令和3年3月19日（金）～4月19日（月）

動画の配信は終了しましたが、当事業のホームページに説明会の資料（スライド・読み原稿）や質疑内容を公表していますので、ぜひご覧ください。

＜主な質疑内容＞

○土壤汚染対策法の対象になると思われるが、土壤調査の有無や結果を明示してほしい。

→今後の工事において、土地の形質変更の合計面積が3,000㎡以上となる場合は、工事着手の30日前までに土壤汚染対策法に基づく手続きを行います。その手続きの中で必要に応じて土壤汚染状況調査(地歴調査や土壤分析等)を実施し、土壤汚染があった場合にはホームページ等で結果を公表します。

◆今後のスケジュール（予定）

	令和3年度	令和4年度	令和5～7年度
設計・工事	基本設計	実施設計 土木工事	建築工事
各種手続	都市計画手続	経営許可手続	

（令和7年度）
完成

◆都市計画手続について

- ・令和3年度は、斎場の位置及び区域など、基本的な事項を都市計画に位置付けるための都市計画手続に着手します。
- ・都市計画市素案説明会や都市計画市素案の縦覧、公述申出の受付は令和3年6月頃を予定しており、詳細は広報よこはま鶴見区版や横浜市ホームページ等によりお知らせする予定です。

事業の進捗状況は、この「整備通信」や説明会の開催、ホームページなどを通じてお知らせしてまいります。

東部方面斎場

検索